

県産野菜、名古屋でPR JA全農岐阜がフェア



岐阜、三重両県の新鮮な野菜を買い求める客＝名古屋市
中区錦、カネ井青果セントラルパーク店

全国農業協同組合連合会の岐阜県本部（JA全農岐阜）と三重県本部（JA全農みえ）は、地場で採れた新鮮野菜をPR販売する「岐阜県・三重県フェア」を名古屋市内で開き、2日間で計約3千人の来店客でにぎわった。

一大消費地の名古屋市で、隣県で採れた野菜の魅

力を消費者に伝えようと、青果仲卸のカネ井青果（岐阜市茜部新所）セントラルパーク店の協力で、初開催した。旬を迎えた「岐阜えだまめ」「各務原にんじん」「かいづつ子トマト」のほか、キュウリ、モロヘイヤ、ホウレンソウなど15種類以上が店頭に並んだ。JA全農岐阜の担当者は「ほぼ完

売の状態だった。三重との相乗効果で、幅広い種類の地場野菜を周知できた」と話した。